

採択理由

プログラム名：先端融合領域イノベーション創出拠点の形成

課題名： ナノ・マイクロものづくり－ITの融合領域

代表者名： 吉本 高志

所属機関名： 東北大学

コメント

本提案は、半導体微細加工技術とものづくりの融合領域として、概ね 10 年～15 年後にイノベーションを起こし、革新的な技術開発並びに新産業の創出などが期待されるものと評価された。

しかしながら、委員からは、以下のようなコメントが寄せられている。

・本提案には、「企業と大学が対等な立場」で連携し研究開発を行う「拠点を形成」する構想として不十分な点がある。たとえば、組織からも研究内容からも、MEMS を深めるのみの研究に見え、融合によりそれ以外にどのような新しい「もの」や分野が生まれるのかが不明瞭である。そこで①機械を本来の専門とされる江刺研だけでなく、光学・流体・摩擦・化学反応などの異分野の専門能力（タレント、教授陣）の充実が重要である。また②試作ライン等の施設面でも、江刺研以外の異分野との連携が重要である。これら①②とも大学レベルのサポートが重要である。

・既存研究が有しているポテンシャルと実績は理解できるが、中間的な課題が多く部分を占めており、本プログラムの趣旨（10－15 年を見据えた）に沿うかどうか懸念がある。この点も明確化が望まれる。

上述の観点も含め、1 年目はミッションステートメントの実現可能性についてさらに調査・検討することとし、その結果を踏まえ、拠点化構想等（企業との協同体制を含む）の改善を行うこと。